

鳥海ダムだより



国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所

2004.3
第7号



「命の水」

鳥海ダム建設促進期成同盟会監事

西目町長 三浦孝郎

かつて、ロシアの宇宙飛行士ガガーリンがはじめて宇宙へと旅立ったとき、遠ざかる地球を見て叫んだのは「地球は青かった。」という有名な言葉でありました。地球は水の惑星だからであります。水は海ばかりではなく大気にも陸にもあります。

これまで、水はこの地球上に無限に存在するものの代表のように考えられてきました。「湯水のごとく」などの言葉にあるように、あまり価値のないものの例として使われております。

ところが、風土が異なると水に対する価値感が大きく変わります。砂漠地帯のように雨が少なく河川のない所では、水の価値が高くなり「水の一滴は血の一滴」となります。

山々の緑に囲まれており、これほど緊迫している状態ではありませんが、本町農業の変遷の歴史は、かんがい用水確保と軌を一にしてきました。

春の耕起が終り鳥海山北麓の雪溶け水が圃場一面に張られると白銀に輝く秀麗鳥海山の雄姿が水面に映え美事な田圃風景に変容します。

本町の圃場は節水のために大部分をパイプかんがいにしております。西目川の自流水を補なうため祖先が苦心惨憺し、本町区域外の仁賀保高原に三つの溜池を築造しております。

それでも夏に入り干天が続くと用水が不足となり、遠く藩政時代に西目潟干拓の際に大潟溜池に移り住んだと伝えられている龍神様に雨乞い参詣となり神頼みであります。

この三つの溜池は本町の最重要水源であり町民の命の水であり、謝恩の念を持ち続けております。一服の茶、一杯の酒、一粒の米、命の水無しに私たちの毎日はありません。

「命の水」は豊かな自然の山紫水明から生まれることに思いを強くしたいと思います。

第18回鳥海町産業文化祭

11月1日から3日の3日間、第18回鳥海町産業文化祭が開催されました。町民会館「紫水館」及びトレーニングセンターを会場に、農産物や特産品、文芸品等の展示や、第40回鳥海町小中学校音楽祭、本荘高校吹奏楽部演奏会などの各種行事が行われ、大勢の来客者で賑わいました。また、3日目には、読売巨人軍監督の堀内恒夫氏が、「私の野球人生」と題し、講演が行われ、大盛況に終わりました。

なお、鳥海ダム調査事務所でも、2日目に、紫水館内において『鳥海ダムコーナー』を開設し、鳥海ダム完成予想模型の展示、パンフレットの配布、各種ゲーム等を設けました。

今回は、『鳥海ダムコーナー』及び紫水館で行われた産業文化祭2日目の行事を紹介します。



鳥海ダムコーナー



ふるさと鳥海の会 作品展



第40回鳥海町学校音楽祭

第3回環鳥海地域づくり円卓会議開催

1月8日に、仁賀保町「ホテルエクセルキクスイ」において環鳥海地域づくり円卓会議が行われました。

この円卓会議は、「鳥海山」をランドマークに、由利本荘、鳥海、酒田、庄内中央、新庄、湯沢の各青年会議所が集まり、環鳥海地域づくりについて話し合う会議で、今回で3回目となります。当日は、秋田大学清水教授、東北地方整備局光家企画部長、柳町鳥海ダム調査事務所長や、関係5事務所長も出席しました。

今回の円卓会議では、特定非営利活動法人（仮称）極楽鳥海人設立世話人会 代表 太田薫氏より、「環鳥海地域を一体とする総合的な協議体の形成について」と題し、説明された後、広く意見交換が行われました。



東北地方整備局光家企画部長挨拶



園児から勤労感謝のプレゼント

11月12日、本荘保育園の園児が訪問し、園児から花の鉢植えなどをいただきました。

大勢の園児の来訪で、職員は、いささか驚いた様子でしたが、かわいい園児の笑顔で、ひとときの休息を得られました。

本荘保育園の皆さん、ありがとうございました。



第8回「鳥海ダム懇談会」開催

1月19日、本荘市内において、今年で8回目となる鳥海ダム懇談会が開催されました。

この懇談会は、地域の発展に貢献するダムづくりを目指し、ダム事業及び地域づくりに対し各種施策の提言を行うことを目的としたもので、各界有識者、子吉川流域の住民代表、行政関係者を懇談会委員をもって組織されています。

今回の懇談会では、当所から鳥海ダムの概要、事業経過等を説明し、その後、委員長の清水浩志郎秋田大教授の進行のもと、意見交換が行われました。また、秋田穂積秋田公立美術工芸短期大学名誉教授からは、「鳥海ダムの模型」の制作にあたっての苦労話等について、説明がありました。

懇談会では、「もっと理解しやすいパンフレットの見直し」、「ダム完成後における、ダムを活用した夢のある話を今後討議したい」等の意見が出され、鳥海ダムについて活発な討議が行われました。



鳥海ダム事業説明会 ～鳥海町議会議員研修会～

1月21日に、鳥海町議会議員を対象とした鳥海ダムの事業説明会が行われました。

今回は、鳥海町議会議員研修会の一環として、鳥海町主催で行われ、当日は、湯沢河川国道事務所において、成瀬ダムの事業概要等説明を受けた後、鳥海町の紫水館に戻り、鳥海ダム事業説明会が行われました。

鳥海ダム事業説明会では、当事務所より鳥海ダムの事業概要等を説明した後、鳥海ダムについて、各町議会議員からの質疑や意見等を交換されました。



鳥海町長挨拶



当事務所長挨拶



鳥海ダム事業説明



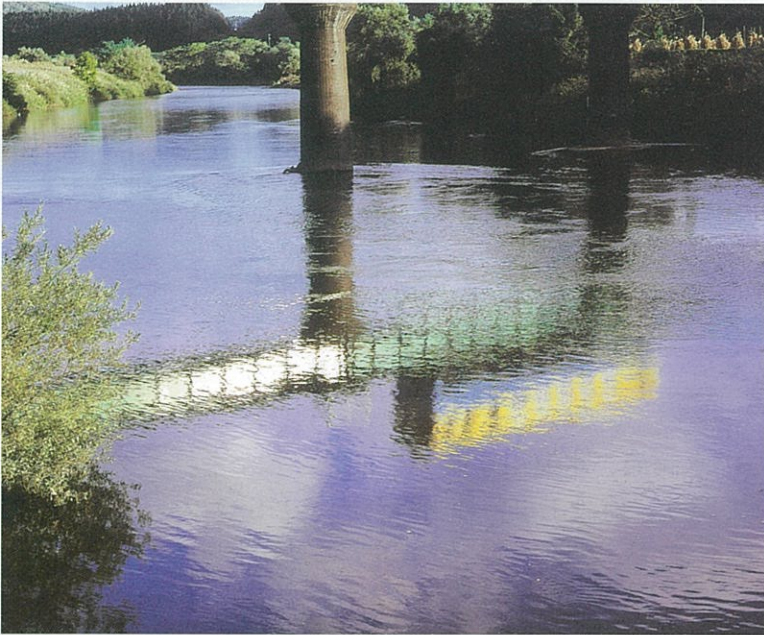
第10回子吉川写真コンテスト受賞作品決定

第10回子吉川写真コンテスト受賞作品が厳正な審査の結果、決定しました。

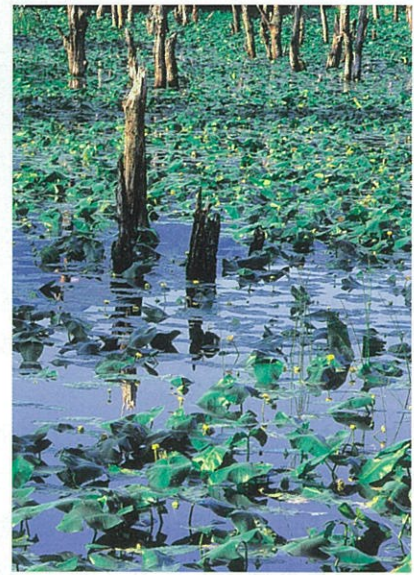
最優秀賞は鈴木政雄さんの『静流・子吉川』、優秀賞に工藤純さんの『「コウホネ咲く」』、田中秀雄さんの『奇』、三浦功さんの『冬の調べ』の3作品など各賞が、下記のとおり、決まりました。

| 賞 | 作 品 名 | 氏 名 |
|---------|--------------|-----------|
| 最 優 秀 賞 | 静流・子吉川 | 鈴 木 政 雄 |
| 優 秀 賞 | 「コウホネ咲く」 | 工 藤 純 |
| 優 秀 賞 | 奇 | 田 中 秀 雄 |
| 優 秀 賞 | 冬の調べ | 三 浦 功 |
| 入 選 | 昼下り | 五 十 嵐 幸 二 |
| 入 選 | 集漁灯と夕日 | 上 野 た かし |
| 入 選 | 冬彩 | 榎 本 春 雄 |
| 入 選 | 初秋 | 加 藤 真 |
| 入 選 | 春の訪れ | 木 内 雄 之 |
| 入 選 | 絆 | 鈴 木 ハ ル |
| 入 選 | 晩秋の川 | 須 藤 秋 男 |
| 佳 作 | 白鳥さん こんにちは | 五 十 嵐 幸 二 |
| 佳 作 | 燃える夏 | 木 村 雅 之 |
| 佳 作 | 「秋溪映紅」 | 工 藤 純 |
| 佳 作 | Twilight | 斎 藤 久 |
| 佳 作 | 釣り夫婦 | 佐々木 隆 |
| 佳 作 | 春うらら | 佐 藤 忠 |
| 佳 作 | 静寂 | 田 中 秀 雄 |
| 佳 作 | 春霧 | 徳 山 俊 行 |
| 佳 作 | 快走 | 中 村 孝 太 郎 |
| 佳 作 | 子吉川の鵜 | 原 田 弘 作 |
| レディース賞 | 今日は大漁だ（ハツ目漁） | 伊 藤 幸 子 |
| レディース賞 | 川が好き | 藤 原 幸 江 |
| ヤング賞 | 空 | 高 橋 孟 紀 |
| ヤング賞 | 石沢の自然 | 畠 山 元 |
| 特 別 賞 | 脅威 | 今 野 清 美 |

各賞内で50音順、敬称略



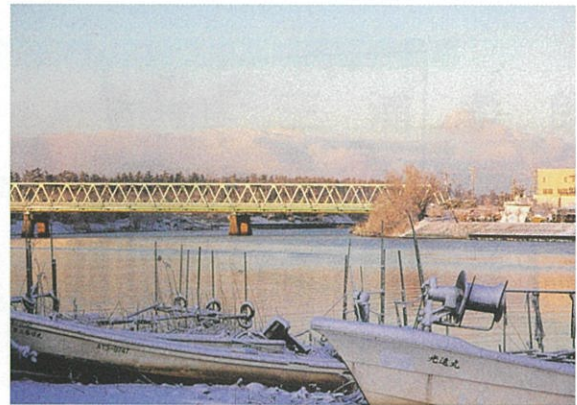
【最優秀賞】 静流・子吉川



【優秀賞】 「コウホネ咲く」



【優秀賞】 奇



【優秀賞】 冬の調べ

第10回子吉川写真コンテストは、平成15年9月から11月にかけて作品を募集し、合計161点（61名）の応募をいただきました。平成16年1月に審査を終え、2月1日に、本荘市内において、表彰式が開催されました。

なお、平成16年3月3日から3月28日までの期間、本荘市のボートプラザアクアパル（本荘市出戸町字北裏地54-1）において、展示会を開催しています。

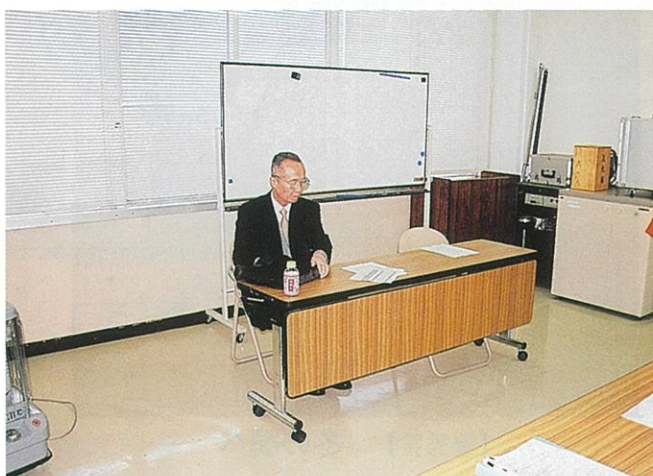


ISO14001 認証取得に向けてスタート

～平成16年度内取得を目指します～

現在、環境保全に対する意識が社会的に高まるなか、政府等の方針により関係省庁は環境管理制度を率先導入すべきとされています。国土交通省においても「ISO14001に基づくモデル事業の推進」、「建設リサイクル」を進める観点から環境マネジメントシステムを構築することが手段の一つとして検討されています。

鳥海ダムは、鳥海山を仰ぎ、日本海を望む洪水調節、水道用水確保を目的とした多目的ダムです。当該由利本荘エリアは豊かな大自然に恵まれており、建設工事前の当事務所がISOの認証を取得することは、長期的な視野による「環境への配慮」について自己の姿勢を示すこととなります。今後は、「鳥海ダムの基本理念」にも念頭に事務所長による『キックオフ宣言』（4月予定）を行い、平成16年度内に、ダム調査事務所としては日本初の認証取得を目指すこととなります。



2月5日に、ISO14001 認証取得に向けての勉強会が当事務所会議室で行いました。



編集 後記

鳥海ダム建設促進期成同盟会監事の三浦孝郎西目町長に寄稿していただきました。お忙しいなか、ありがとうございました。

今回は、鳥海ダム懇談会、第10回子吉川写真コンテストの受賞作品や、当事務所がISO14001 認証取得に向けスタートしたことなどを紹介しました。

今年度も残りわずかとなりましたが、何とか年4回発行できたことにほっとしております。今後も、ISO14001 認証取得などの当事務所の取組みや、地域のイベント等を紹介していきたいと思っております。

今後とも、鳥海ダムだよりをよろしく願います。

補償調整課

編集・発行

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所

〒015-0001 秋田県本荘市出戸町字給人町13-4 TEL.0184-23-5120 FAX.0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>

e-mailアドレス chokai@thr.mlit.go.jp